図書館だより

第５号

２０１８年　１０月号

毎年、１０月から１１月にかけて「読書週間」があります。今年の「読書週間」は、10 月 27 日から 11 月 9 日（「文化の日」を中心に２週間）です。「ホッと一息 本と一息」が、今年の標語です。

映像や電子メディアが発達している現在です。しかし、どんなメディアの時代でも、それを動かす主役が人間である以上、活字文化はすべてのメディアの基礎です。

特に、青少年時における本との出会い、つきあいが重要です。本は、タイムマシン（どこでもドア）です。ページを開いたとたんに、時間・空間を超えて、古今東西、どのような時代・場所にも行けます。

仮に「本」をあまり読まなくても、テレビドラマ、映画、アニメには、親しんでいると思います。実は、あなたが好きなそのテレビドラマ、映画、アニメは、いろいろな「本」が原作となっています。そのような本は、図書館にたくさんあります。

例えば、テレビドラマの中には、人間の歴史を扱ったものがあります。歴史は人々を魅了します。これはなぜでしょうか。歴史は、先人たちの知恵と経験の宝庫だからです。歴史には、私たちが学べることが、たくさんあります。

歴史小説との出会い

ＮＨＫは、日曜日の夜、大河ドラマを放映しています。今年は「西郷どん」です。西郷隆盛の話です。その「西郷どん」に登場する人物に、坂本龍馬がいます。「竜馬がゆく」という本の名前は、聞いたことがあるでしょう。薩摩と長州が一緒になれば幕府を倒せる。誰にでもわかる理屈ですが、どのように実行するかが難しいのです。それを、坂本龍馬の努力によって、話がまとまる。非常に魅力的な人物であり、「竜馬がゆく」を読むと元気が出ます。

図書館にある、歴史に関する本を載せておきます。

手に取って、読んでみてください。

図　書　名	著　者　名	出　版　社　名
竜馬がゆく	司馬　遼太郎	文芸春秋
豊臣秀長	堺屋　太一	ＰＨＰ研究所
天璋院篤姫	宮尾　登美子	講談社
蜩ノ記	葉室　麟	祥伝社
真田三代	平山　優	ＰＨＰ研究所
江の生涯	福田　千鶴	中央公論新社
三国志	吉川　英治	講談社
ＮＨＫ歴史発見	ＮＨＫ歴史発見取材班	角川書店